

↓さわやかな秋空の下、新鮮な山海の幸をバーベキューで楽しむ来場者



10.4



みんなの広場

新 波多津みなと祭り 新鮮な『山海の幸』に舌鼓

地元手作りのイベントで地域を活性化しようと、波多津漁港で『波多津みなと祭り』が開かれました。この日、県内外から約 3,500 人が訪れ、海・山の幸バーベキューや農水産物販売のコーナーを満喫。海上では、ろ漕ぎレースやクルージングも催されるなど、終始、会場は大盛況となりました。また、辺りが闇に包まれると、祭りのフィナーレを飾る花火が夜空を華麗に彩り、来場者はぜいたくな秋のひとときを心ゆくまで楽しんでいました。



秋の夜空に咲いた花火



強風に苦しみながらも必死に操船する漕ぎレースの出場者

かけがえのない命を救うために 佐賀県内合同水難救助訓練

黒川町のイマリビーチ付近の護岸で、県内合同水難救助訓練がありました。これは、消防隊員の潜水技術の向上と応援・連絡体制の強化を目的に、県消防長会が毎年実施しているもので、県内5消防本部から約 70 人が参加。親子連れの事故を想定して訓練が開始されると、隊員は捜索役と収容役に分かれ、手順を確認しながら機敏に行動していました。



10.2

↑遭難者に見立てた人形を協力して水中から引き揚げる参加隊員

↓車のフロントガラスにマスコット人形を付ける塚部芳和市長



9.18

伊 交通安全（飲酒運転ナシ）キャンペーン 万里梨（ナシ）で飲酒運転ナシ

二里町大里の国道 202 号で、飲酒運転根絶と事故防止を呼び掛けるキャンペーンが行われました。この日は、塚部芳和市長や伊万里警察署長のほか、市交通対策協議会や市交通安全指導員会などから約 30 人が参加。伊万里梨が入った袋と交通安全マスコット人形（市老人クラブ連合会 寄贈）を配布しながら、運転手に安全運転を呼び掛けました。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎4313 広報係直通)

首 鍋島藩祭秋まつり『献上の儀』 首相に伝統技術の粋『鍋島』を献上

伊万里鍋島焼協同組合による『献上の儀』が首相官邸で行われ、酒器『色絵鍋島文様尽し瓶子』が安倍晋三首相に献上されました。これは、『鍋島』を将軍家などへ献上していた先人の偉業に感謝し、伝統技法を継承していくため、平成元年から城がある自治体の長などに贈っているもので、今回有田焼創業 400 年を前に、初めて首相に贈られたものです。



↑ 安倍首相に瓶子を献上した伊万里鍋島焼協同組合の皆さん

10.14

↓ 稲穂を供えた祭壇に感謝の意を込めさかきの葉を置く中島さん



9.26

丹 平成27年度献穀田『抜穂式』 精込めて育てた米が無事に実る

黒川町牟田の中島隆治さんが管理する献穀田（皇居への献上米を栽培する田んぼ）で抜穂式が行われました。これは、今月の宮中行事・新嘗祭への献納を前に米を収穫する儀式で、市内から献穀田が選ばれたのは 12 年ぶりです。中島さんは、地元や関係者の支援を受けて4月から栽培。収穫した 400 ㍓ほどの米から約 1.5 ㍓を選びすぐり献納されます。

み 第 11 回ボランティアまつり～ふれあい広場～ みんなで広めよう支えあいの輪

市民センターで、ボランティアまつりが開催されました。これは、市民との交流を通じてボランティア活動を啓発・推進しようと、市ボランティア連絡協議会などが毎年この時期に開催しているものです。踊りやバンド演奏などのステージ発表のほか、会場内には多彩な催しや展示・体験コーナーなどが設けられ、家族連れなどでにぎわっていました。



10.18

↑ アイマスクをして目が見えないことの大変さを実感する参加者

↓ 段ボールだけで作られたさまざまな動物たちが登場



10.11

ダン 宝くじ文化公演『お花のハナツクの物語』 ダンボール人形劇に家族で感動

宝くじの助成金を活用して、市民センターで宝くじ文化公演『お花のハナツクの物語』が上演されました。これは、平 常さんによる段ボールを使った創作人形劇で、主人公ハナツクが、さまざまな出会いを通して自分の魅力を再認識していく物語です。家族連れの参加も多く、会場からは子どもたちの歓声や大きな拍手が送られていました。